

伝言板

プリザーブドフラワー シェリー

日時：8月 22日(土) 13:00~15:30
28日(金) 10:00~12:30

☆体験随時 3,000円 (全て込み)
☆ブーケ・お祝い・お見舞等 オーダー・レッスン 承ります。
☆趣味・資格・加工資格コース有

お問合せ・お申込み：
片岡 090-7267-4498
HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

韓国語講座

日時：8月 10日(月) 8月 24日(月)
初心者クラス 10:00~11:20
会話クラス 11:40~13:00
会費：3500円

初心者クラス： 会話クラス：
全く初めての方を対象とした 韓国語検定4・3級程度の韓国語が出来る方を対象とした会話クラスです。

講師 遠 美仙
韓国ソウル出身。ソウルにて誠信女子大を卒業後、筑波大学の大学院修士課程を修了卒業

お問合せ・お申込み 篠崎
080-5543-7489

special summer lesson

プリザーブドフラワー シェリー スペシャルサマーレッスン

日時：8月17日(月)
10:00~12:00
場所：空~くう~にて
連絡先：090-7267-4498 片岡

- ★ チョコケーキ&カクテル ¥3,800.-
ジェルキャンドルを使ったカクテルが涼しげ。
(どちらか一つは ¥2,300.-)
- ★ リースはビタミンカラーで元気の出るアレンジです。
フルーツリース ¥3,800.-

甘味café 空~くう~で 一日オーナーになってみませんか!

ケーキ・和菓子・飲み物・ランチetc...
ちょっとした喫茶店を貸しきってのホームパーティのように沢山の方々に腕をふるってみては??
もちろん私達スタッフもお手伝いさせていただきます。
詳しくは 0297-60-1666 (カタロ)

Misa Quilt (ミサキルト)

毎月1回 ミサキルトの講習会を空~くう~で行います
手芸のお好きな方興味のある方、
教室でない空間でキルトを楽しんでみませんか!!

~ハワイアンキルトバック作り~
日時：8月24日(月) 10:00~13:00
料金：3000円
(材料費込ケーキセット付)
定員数：5名
お問合せ 荒井美佐子 0297-60-7207

~おすすめ商品 今月の.com ドットコム~



軽くて割れにくい洗面ボールと、コンパクト設計の本体キャビネット

水栓まわりに洗面小物が置けます。



人工大理石製なので陶器製に比べて割れにくくなりました。



北澤工務店が、数ある商品の中から選りすぐったものを、どこよりも安い.com価格でご提供させていただきます。

Panasonic 洗面ドレッシング M Line
商品番号 GQM75P1SM
ホワイト

定価 132,090円を
29,999円(税込)

- ★ 給排水管工事が別途必要の場合もございます。
- ★ 現場調査の上、御見積致します。お電話下さい!

Panasonic 洗面ドレッシング M Line
商品番号 GQM75K3SM
ホワイト

定価 162,750円を
48,999円(税込)

カタロ通信

VOI. 138
2009年 8月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

北澤工務店

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7
TEL: 0297-60-1333
FAX: 0297-60-1311
e-mail: info@e-kitazawa.com

カタロ

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL: 0297-60-1666
閉館日：水曜日
e-mail: kataro@e-kitazawa.com

甘味café 空~くう~

301-0855
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12
TEL: 0297-63-0730
定休日：水曜日
e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者茨城県知事免許(3)第5344号



北澤工務店の快適リフォーム・増改築工事+耐震工事の施工例 床材：さくら無垢材



北澤工務店&甘味Cafe空~くう~から



★8月のミニショップは...

peace
うつわや山の花

『布小物』
『陶器』

さんです。



北澤工務店・甘味cafe空~くう~・カタロは
8月12日(水)~8月16日(日)までお休みを頂きます。



N様邸が完成！ 増築及び耐震リフォーム工事



私の父が新築をさせていただいてから20年の年月が流れたN様邸。当時小学生だったお嬢様Fさんがご結婚され、お嬢さんを迎えて同居する運びとなりました。6月の出産を前に大規模なリフォーム工事が着工。その経過はカタロ通信5月号6月号に連載させていただきました。そしてFさんは無事に出産。ふっくらとかわいらしい赤ちゃんは、桃子ちゃんと命名されました。追いつくようにリフォーム工事も無事完成。1カ月を経て住み心地と工事の感想を伺いました。

「おさむ」
ももちゃん、ほんとにかわいいねえ！ どうしてこうやってあかちゃんの顔を見ていると笑顔になっちゃうんだろ。さてさて、取材の件なんですけど、普通一般的に、親御さんが建てた家とはいえ、自分たちが資金繰りをしての今回の計画ですから、他の会社とか、考えなかったんですか？

「Fさん」
いやー、ぜんぜん考えなかったですね。

「おさむ」
へえ～、それはなぜですか？

「Fさん」
この家を造ってもらったのが北澤さんだったし、この家がとっても好きだから。それに、年末にアフターサービスで毎年来てくれるし、これまでもいろんなふれあいがあったから。

「おさむ」
わあ～、それはうれしいなあ。地元の工務店冥利に尽きますよ。今回のリフォーム工事で気に入っているところは？

「Fさん」
まずこの本棚ですかね。父は毎日ここを開けては喜んでます。ね、おとうさん！（ああ、これはよかった・・とお父さんの声）それと、屋根裏に作ってもらったりした収納がとってもよかったです。増築した部分もすっごくおしゃれで、来る人みんなが『ステキ！』って褒めてくれます。まさかあんな風になるとは想像できなかった。木のぬくもりが感じられるのもお気に入りです。

「おさむ」
ああ、喜んでもらえてうれしいです。ところでやっぱり、いいところばかりじゃなかったですよ。なあすればよかったとか、北澤工務店に対してのご不満とか、...

「Fさん」
さっき北澤さんが来たときにもそう言われて、いろいろ考えてみたんですけど、ないんですよ、ほんと。満足しているんです。ね、お母さん（んん、ほんとによくやってくれたよねえ。職人さんたちもみんないい人たちばかりだった。・・とお母さんの声）

「おさむ」
それじゃ、記事としてはおもしろくないなあ。。でも、すっごくうれしいです。なんといってもぼくの親父が建てた家を、代を超えて手を入れさせていただけることが、ぼくはほんとにうれしい。これからは末永いお付き合いをよろしくお願ひします・・・。



取材をさせていただいたこの日、龍ヶ崎市では八坂神社のお祭りの日でした。あの有名な撞舞の日です。お父様は地区の区長として袴姿に着替え、お嬢さんであるTさんも浴衣に着替えて、お父様と共に地域コミュニケーションに初デビュー！！その親子の姿は、ほんとうに微笑ましい限りです。

そんな家族をただただ無垢の笑顔で見つめるももちゃん。リニューアルしたN様家族の新しいお家が完成しました。



おさむのひとりごと



こんにちは！いよいよジメジメした梅雨も終わって『スカッ』とした青空の広がる季節となりました。いかがお過ごしですか。

《またまたデニーズ・笑》

今月もこのひとりごとは、とある日の早朝（夜中？）のデニーズで書いています。やはりこの牛三つ時の空気は独特なものがあります。ぼくはこの時間が大好きです。

静かなそのお店の中、いまぼくの前でとても気になる光景があります。

それは20歳前後の若者3人組。無言でゲームをしている。ず～っと無言でゲームをしている。。。。ず～っと。。。。ひと言もしゃべらないんです。。。。。。その姿、異様です。時間は過ぎてゆく。。。。。

やがて緑色のシャツを着たひとりが、『行きますか』と静かにひと言。あとのふたりは返事をするでもなく、小さくうなづいて席を立つ。。。。。

その1時間前後の間のこの3人の行動は、あくび数回、たばこ2本、姿勢の変化数回（背中を向けて）だけ！

なんだかぼくは、笑みが浮かんできてその3人の姿をウォッチングして楽しんでしまいました。

これって、けっこう現代の若者に往々にしてある姿なのかもしれませんね。これが『事実』だから、この『事実』から何を感じ、何を学び、その異和感をどう自分に生かすか、が重要だと思いました。否定したりしても何も始まらないからです。

偏見かもしれないけれど、ぼくはこう感じました。それはやはり、若者たちのこころの奥底に横たわる『無力感・孤独感・空しさ』かな。欲求が弱まっていると思うんです。『ほんとうに欲しいもの』『ほんとうにしたいこと』が見つからない。極端に言えば『食べたいもの』すらわからない。

ま、これは若者に限ったことではありませんね。若者や子供たちは、我々おとなの『鏡』を映しだしているに過ぎないわけですから。ぼく自身も。

《若者といえば・・・》

20歳前後の若者、といえはすぐに思い浮かぶのが、第二次世界大戦末期に繰り広げられた特別攻撃作戦の、あの若者たちです。彼らの多くは、いまぼくの目の前にいたあの若者たちと同年齢でした。浅はかな史実しか知らないぼくが特攻作戦を云々語ることはできませんが、陸軍・海軍合わせて5000名とも6000名とも言われる若者たちが、愛する人のため、自分の命を懸けて守りたい対象のため、沖縄の海に向かって激しく命を燃やし、そして尽き果てたのです。そのひとりひとりの人生のドラマを知るたびに、背筋を伸ばす思いがしてなりません。ぼくのこころの奥底に在る熱き魂の感覚を取り戻さないではられません。これは理屈を超えた感覚です。

《薩摩おごじょ》

新宿4丁目、末広亭前に『薩摩おごじょ』というお店があります。

『わたしは知覧で亡くなった特攻隊員さんたちを弔うから、礼子は東京で生き残った隊員さんたちをみてあげなさい』

特攻の母として慕われた、あの余りにも有名な鳥濱トメさんからそう言われて開業したのがこのお店の始まりです。トメさんの次女礼子さんは残念ながら3年前に亡くなりました。現在は礼子さんの次男坊である潤さんが後をついでいらっしやいます。

いまま尚このお店には、高齢とはなりましたが、元特攻隊員だった方やこの作戦に関わった通信兵、整備兵の方々が集まいます。

そしてすばらしいことは、特攻隊を知りたい、学びたいという若者が後を絶たず来店していることです。ぜひご関心のある方はご連絡ください。薩摩おごじょに、ぜひ一緒に行きましょう。

《ひよんなことから知覧行き》

ぼくの友人である主婦バンドの『コクーン』のゆうこちゃんから電話がありました。『実はねえおさむちゃん、娘のももが舞台のオーディションに合格して、特攻隊のお世話をした女学生役をやることになったのよ。一緒に薩摩おごじょに行ってくれないかなあ。。。。』と。

今年20歳になるももちゃん。ゆうこちゃんにそっくりの、とってもすてきな女性です。ぼくでさえそうですが、戦争も特攻作戦もまったくと言っていいほど知らないももちゃん。その薩摩おごじょで潤さんからお話を聴き始めると、背筋がぴんと伸び、見る見る目が輝きだすのが伝わってきました。

『んなら、一緒に知覧に行きましょうかあ～』

と潤さん。その場で日にちが決定し、知覧行きがまとまったのでした。



飛行場跡を訪れて..

《知覧》

知覧に行くということは、潤さんのお店を休まなくてはなりません。その決断の早さに、潤さんの血の中に流れるトメさんの遺伝子を感じないわけにはいきません。やがてその日が来ました。

今回の知覧ツアー？の参加者は、潤さん、ゆうこちゃん、ももちゃん、マイミクさんのよしこさん、そしてぼくの5人です。

鹿児島空港からレンタカーで1時間半、南九州特有の山並みを越えて知覧へ。

知覧は『知覧茶』で全国的に有名なお茶の産地です。市街に入り『知覧特攻平和会館』に向かうと、連綿と続く灯籠の姿に、否が応でも緊張感が高まります。

これから、陸軍特攻作戦の最大基地となった知覧の体験が始まります。現在この小さな町に年間10万人の観光客が集まいます。大型観光バスがわんさかとやってくるのです。しかし今回の体験は、特別中の特別な体験となりそうです。ガイド役は先の潤さんと31歳までトメさんと共に暮らした孫の明久さんです。夜には女学生として隊員のお世話をされた『ちのさん』もお越しください。トメさんが必死に守り続けた観音堂、飛行場跡、三角兵舎跡、トメさんのお墓、飛行場を見渡す猿山、そして富屋食堂を再現したホテル館。。。。と盛りだくさんの二日間です。ひとつひとつが深く、重たい事実の連続であり、さっと書けるものではありませんが、次号に続けて書いてみたいと思います。

。。。。『カタロ通信を楽しみにしていたのよ』と、何度となく声をかけていただいています。必ずやまた皆さまのお手元にお届けできるようがんばります。

ではまた。

